



第59期 中間報告書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで



ロームシアター京都

ローム株式会社

証券コード 6963



代表取締役社長 澤村 諭

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第59期第2四半期累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)における概況をご報告申し上げます。

業績の概要

当第2四半期累計期間においては、英国のEU離脱決定による景気減速懸念などがありましたが、欧米経済が堅調に推移したことに加えて、日本、中国経済にも回復が見られたことから、全体として景気は緩やかな回復が続きました。

エレクトロニクス業界におきましては、自動車関連市場については、欧州、中国などの市場での販売が好調に推移したことに加えて、引き続きエレクトロニクス製品の実装率が向上したことから、堅調に推移しました。民生機器市場については、スマートフォン市場が堅調に推移しましたが、PCやTV市場などは引き続き厳しい状況が続きました。

ロームグループにおきましては、中長期的に成長が期待される自動車関連市場や産業機器市場、新市場へのラインアップ強化や、海外系顧客への販売強化を進めました。また、今年2月にルネサスエレクトロニクスグループから取得した半導体の前工程工場(現ローム滋賀株式会社)やタイ、マレーシアの新棟建設、立ち上げなど、将来の成長に備えた生産体制の強化にも努めました。

このような状況のもと、注力分野などでの売上が順調に増加しましたが、為替レートが大幅な円高となったことなどにより、当第2四半期累計期間の業績は、売上高が1,718億5千8百万円(前年同期比9.4%減)、営業利益は157億8千6百万円(前年同期比32.6%減)となりました。

経常利益につきましては、為替差損の計上等により82億4千7百万円(前年同期比74.8%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は81億3千9百万円(前年同期比68.9%減)となりました。

今後の見通し

世界経済は堅調な欧米経済や緩やかながらも回復する日本などに牽引され、全体としては回復基調にあるものの、中国における経済成長の鈍化や英国のEU離脱による影響などで、当面は回復力の弱い状況が続くと予想されます。

エレクトロニクス市場においては、自動車関連市場、産業機器市場は着実な成長が期待できる一方で、スマートフォン市場においては、今後競争が激化することが見込まれます。

こうした中でロームグループでは、引き続き、長期的な市場の成長が見込まれる自動車・産業機器市場への拡販、海外市場における顧客サポート体制の強化など、売上の拡大に引き続き全力を挙げるとともに、生産改善活動の徹底などによるコストダウンに努めてまいります。

このような状況を踏まえ、平成29年3月期の連結業績予想につきましては、下記を見込んでおります。

通期業績予想(連結)

(単位:億円)

	平成28年3月期	平成29年3月期予想	前期比増減率
売上高	3,523	3,340	△5.2%
営業利益	336	235	△30.1%
経常利益	366	165	△54.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	256	120	△53.3%

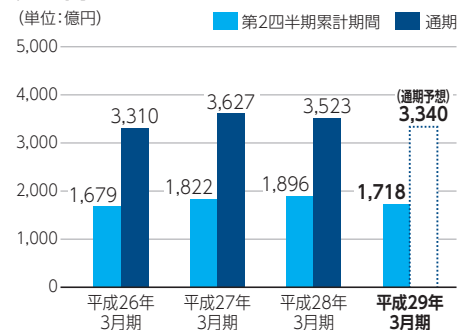
下期の為替レートは、1米ドル=100円を前提としております。

株主の皆様には、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

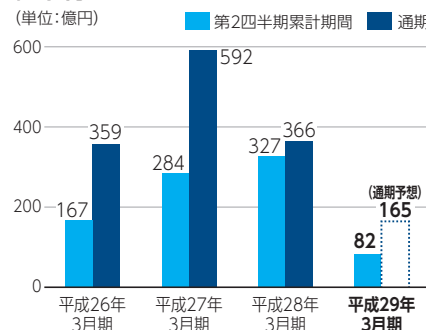
平成28年12月

代表取締役社長 澤村 諭

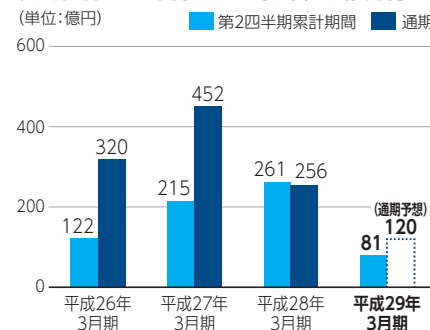
売上高



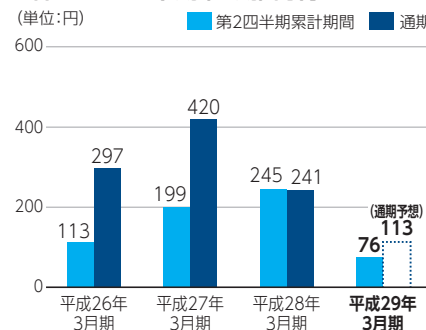
経常利益



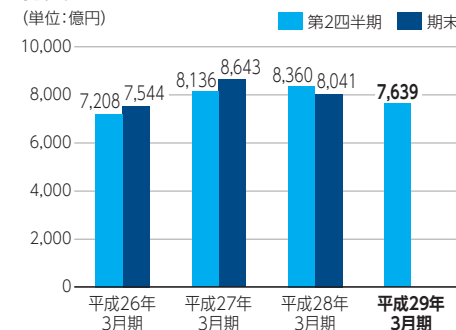
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



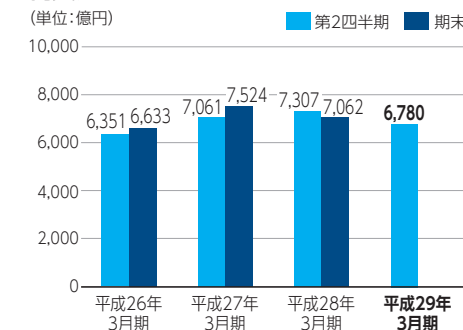
1株当たり四半期(当期)純利益



総資産

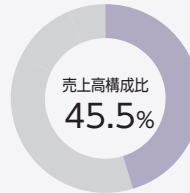


純資産



セグメント別の概況

LSI



主な製品

- アナログ
- ロジック
- メモリ
- ASIC
- ファンダリ

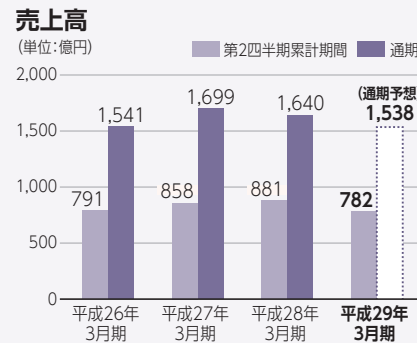


- 売上高 782億2千6百万円 (前年同期比11.2%減)
- セグメント利益 40億9千7百万円 (前年同期比47.0%減)

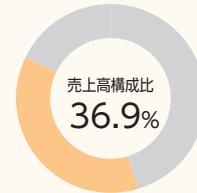
自動車市場では、カーボディ向け、インストルメント・パネル向けなどに採用が進み、売上が増加しました。

産業機器市場向けでは、FA・計測器向けの電源ICなどが順調に売上を伸ばしましたが、事務機やPOS向けなどの売上は調整局面となりました。

民生分野では、スマートフォンなど向けに各種センサの採用が進んだ一方で、PC向けの電源ICなどの売上が低迷しました。



半導体素子



主な製品

- ダイオード
- トランジスタ
- 発光ダイオード
- 半導体レーザ



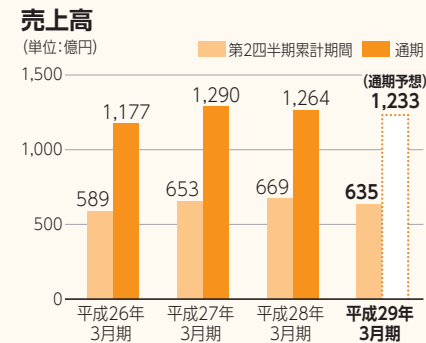
- 売上高 635億円 (前年同期比5.2%減)
- セグメント利益 108億4千4百万円 (前年同期比5.2%減)

トランジスタについては、自動車・産業機器市場向けのパワー MOSFETなどが売上を伸ばしました。

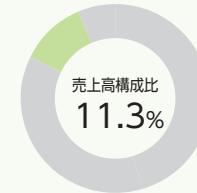
ダイオードについては、自動車関連市場向けが堅調に推移しました。

また、SiCデバイスについても太陽光発電装置向けなどで堅調に推移しました。

オプティカルデバイス関連では、光ディスクの読み取り用レーザ等の売上が低迷しました。



モジュール



主な製品

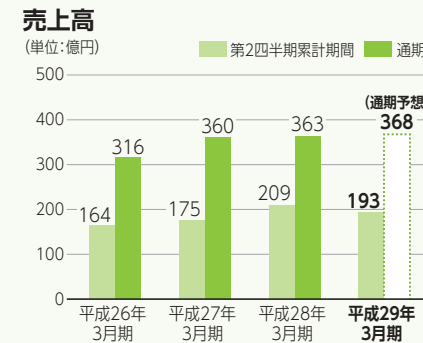
- プリントヘッド
- パワーモジュール
- オプティカル・モジュール



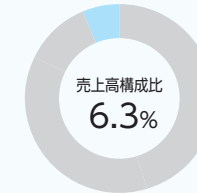
- 売上高 193億7千2百万円 (前年同期比7.6%減)
- セグメント利益 11億7百万円 (前年同期比71.0%減)

プリントヘッドについては、決済端末向けなどのミニプリンタ用プリントヘッドなどが調整傾向となりました。

オプティカルモジュールについては、スマートフォン向けのセンサモジュールや車載光源用LEDユニットが売上を伸ばしました。



その他



主な製品

- 抵抗器
- タンタルコンデンサ
- ライティング (照明)

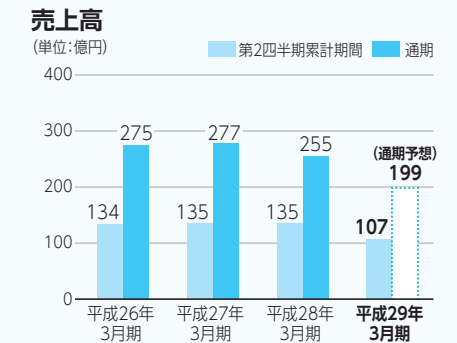


- 売上高 107億5千8百万円 (前年同期比20.4%減)
- セグメント利益 10億8百万円 (前年同期比14.3%増)

抵抗器については、スマートフォンや自動車市場向けの売上が増加しました。

タンタルコンデンサについては、PCやタブレットPC向けの売上が低迷しました。

ライティング (照明) については5月末の事業撤退による影響などにより売上は減少しました。



電気自動車 (EV) の世界最高峰レース「フォーミュラE」に技術協力 SiCパワーデバイスの提供により、マシン性能の劇的な向上に貢献

ロームは、FIA フォーミュラE選手権に参戦するヴェンチュリー・フォーミュラEチーム (Venturi Formula E Team) と3年間のテクノロジー・パートナーシップ契約を締結しました。平成28年10月9日に開幕したシーズン3より、マシン駆動の中核を担うインバータ部分に、自動車分野のパワーマネジメント技術において高い実績を誇るロームの世界最先端のパワー半導体: SiCパワーデバイスを提供し、マシンの小型・軽量化、高効率化をサポートします。

ロームでは、電装化が進む自動車市場において、先進運転支援システムや電気自動車向けなどに様々な製品を開発しています。今後も技術革新と製品ラインアップの拡充を進めてまいります。



Photo : Venturi Formula E Team

「CEATEC JAPAN 2016」に出展



ロームブースの様子

ロームは、平成28年10月に幕張メッセで開催された、「CEATEC JAPAN 2016」に出展いたしました。

今回のCEATECのテーマは、「つながる社会、共創する未来」となっており、従来の「エレクトロニクス総合展」から「IoT」を中心とした展示会に生まれ変わりました。

ロームでは、「CREATING YOUR IoT WITH OUR SEMICONDUCTORS」をコンセプトに、「パワーソリューション」、「アナログソリューション」、「センサソリューション」、「モバイルソリューション」、「オートモーティブソリューション」の5つのコーナーを展開し、最新のデバイスとそれらの技術を結集したソリューションデモ機を展示いたしました。

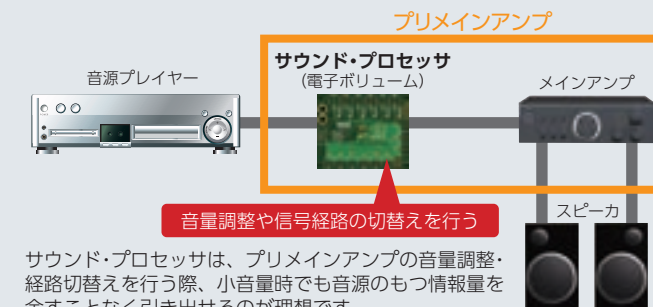
開催期間中、ロームブースには多くの方にご来場いただき、ロームの製品、技術力のアピールに努めました。

ハイレゾ音源対応高音質オーディオに最適 高音質設計技術を導入したサウンド・プロセッサを開発

ロームは、ホームシアターなどに採用されるハイレゾリフレッシュ音源対応のハイエンドAVアンプに向けて、オーディオの音量調整や信号経路の切替えを行うサウンド・プロセッサLSIを開発しました。本製品は、新たな音質設計技術を導入することで、AVアンプに要求される空間表現を重視した高音質を実現しています。今後は、車載オーディオ分野へこの音質設計技術を展開し、高まる高音質への要求に応えてまいります。

※ハイレゾリフレッシュ音源 (ハイレゾ音源)
情報量が通常の音楽CDよりも格段に多く、高音質を実現することができる。

オーディオシステムにおけるサウンド・プロセッサの位置付け

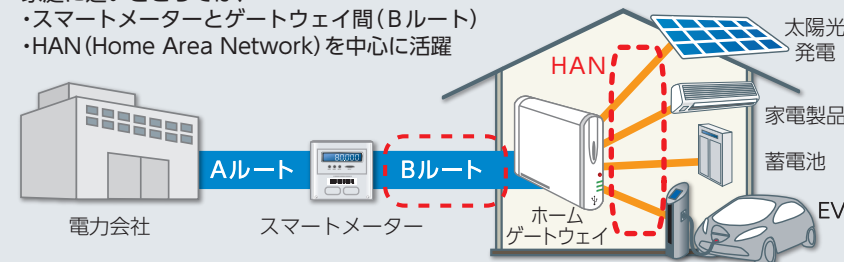


電力自由化サービスとスマートメーターをつなげる「Wi-SUN」通信に対応 業界最小モジュールを開発

ロームは、IoTやスマートメーターをはじめとするスマートコミュニティ構築に最適な国際無線通信規格「Wi-SUN」対応の小型モジュールを開発しました。本製品は、業界トップクラスの受信感度を持つ無線通信機能とマイコン、大容量メモリを内蔵し、Wi-SUN を使ったHEMSコントローラーや各種家電など小型通信機器への採用に最適です。また、同時に発売したUSB Dongle (USBポートに挿しこむ小型の認証用装置) を既存のホームゲートウェイに挿すことで、簡単にWi-SUN環境を構築することが可能

Wi-SUNの活躍が期待されるネットワーク例

- 家庭に近いところでは、
- ・スマートメーターとゲートウェイ間 (Bルート)
- ・HAN (Home Area Network) を中心に活躍



可能です。ロームでは、拡大するスマートコミュニティやIoT市場に対応するため、無線通信関連デバイスやセンサなど様々な製品を開発しており、今後もラインアップの拡充に努めてまいります。

※国際無線通信規格「Wi-SUN (Wireless Smart Utility Network)」
無線LAN (Wi-Fi) と比較して低消費電力で通信距離が長いことから、スマートメーター、交通インフラ、農業など幅広い分野への展開が期待されている無線通信規格。

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

科目	当第2四半期 (平成28年9月30日)	前期 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産	450,033	473,570
現金及び預金	255,799	280,933
受取手形及び売掛金	74,392	66,432
電子記録債権	4,643	3,903
有価証券	20,225	15,470
商品及び製品	20,472	28,139
仕掛品	32,476	35,319
原材料及び貯蔵品	25,568	24,204
繰延税金資産	8,003	8,451
未収還付法人税等	1,246	940
その他	7,945	9,962
貸倒引当金	△741	△186
固定資産	313,878	330,564
有形固定資産	223,118	236,443
建物及び構築物	70,620	75,259
機械装置及び運搬具	62,982	67,623
工具、器具及び備品	6,925	7,234
土地	65,295	66,161
建設仮勘定	17,295	20,165
無形固定資産	9,957	11,691
のれん	5,006	5,777
その他	4,951	5,914
投資その他の資産	80,802	82,428
投資有価証券	66,295	63,146
退職給付に係る資産	1,665	1,297
繰延税金資産	1,977	2,492
その他	10,958	15,590
貸倒引当金	△94	△98
資産合計	763,912	804,134

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 (平成28年9月30日)	前期 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債	53,271	62,352
支払手形及び買掛金	10,450	10,460
電子記録債務	7,808	7,525
未払金	13,917	19,300
未払法人税等	1,887	1,896
繰延税金負債	—	35
事業整理損失引当金	235	442
その他	18,971	22,691
固定負債	32,622	35,530
繰延税金負債	21,647	24,016
退職給付に係る負債	9,867	9,706
その他	1,107	1,807
負債合計	85,894	97,883
純資産の部		
株主資本	732,653	731,391
資本金	86,969	86,969
資本剰余金	102,403	102,403
利益剰余金	591,053	609,166
自己株式	△47,772	△67,148
その他の包括利益累計額	△55,053	△25,616
その他有価証券評価差額金	17,146	16,503
為替換算調整勘定	△67,659	△37,103
退職給付に係る調整累計額	△4,540	△5,016
非支配株主持分	417	476
純資産合計	678,018	706,251
負債純資産合計	763,912	804,134

四半期連結損益計算書

科目	当第2四半期 累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	前第2四半期 累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	171,858	189,636
売上原価	115,150	121,299
売上総利益	56,707	68,337
販売費及び一般管理費	40,921	44,912
営業利益	15,786	23,424
営業外収益	1,784	9,358
営業外費用	9,323	77
経常利益	8,247	32,705
特別利益	76	127
特別損失	350	289
税金等調整前四半期純利益	7,973	32,544
法人税、住民税及び事業税	1,894	6,155
法人税等調整額	△2,057	199
法人税等合計	△163	6,354
四半期純利益	8,136	26,189
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,139	26,180

(単位：百万円)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当第2四半期 累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	前第2四半期 累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,939	40,284
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,658	△3,627
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,912	△26,200
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17,202	△6,908
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,833	3,548
現金及び現金同等物の期首残高	231,802	222,668
現金及び現金同等物の四半期末残高	225,968	226,216

(単位：百万円)

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

ロームシアター京都を通じて音楽の素晴らしさを伝える活動を行っています 地域に音楽が溢れるイベント「ローム ミュージック フェスティバル」

ロームがネーミングライツの形で再整備をお手伝いさせていただいたロームシアター京都が平成28年1月にオープンし、様々なイベントが開催されています。平成28年4月23、24日には、ロームが共催するイベント、「ローム ミュージック フェスティバル」が、ロームシアター京都にて開催されました。ロームは若い音楽家への支援を継続して行っており、その数は延べ4,500名を超え、多くの方がプロの音楽家として活躍されています。「ローム ミュージック フェスティバル」では、それらの音楽家や地域学生の演奏で、多くの方に音楽を楽しんでいただくことができました。



「ローム ミュージック フェスティバル」 撮影：佐々木卓男

第27回「緑の愛護」功労者 国土交通大臣表彰を受賞

ロームは、平成28年6月、第27回「緑の愛護」功労者 国土交通大臣表彰を受賞しました。国土交通省が主催する本表彰は、緑を守り育てる国民的運動を推進する目的で年一回行われ、花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間の団体が表彰されます。ロームでは、本社周辺において、「森の中の工場」をコンセプトとした緑化整備に取り組んできました。敷地周辺への植樹、清掃活動、冬季のイルミネーションなどが評価され、今回の受賞となりました。ロームは今後も、緑化整備に努め、地域社会と共生する企業として、様々な活動に取り組んでまいります。



本社敷地周辺のメタセコイヤ並木

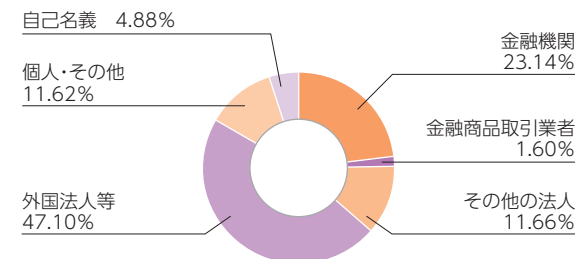


冬季のイルミネーション

株式の状況

発行可能株式総数 300,000,000 株
発行済株式総数 111,200,000 株 (自己株式5,424,081株を含む)
株主数 26,887名

所有者別株式分布状況

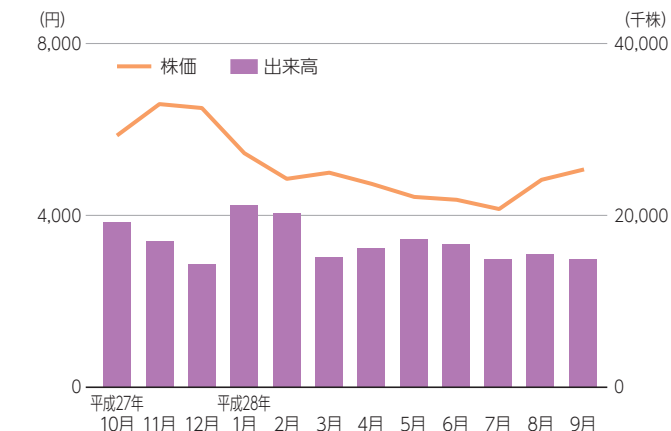


大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション	8,000	7.56
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	6,046	5.71
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	4,957	4.68
株式会社京都銀行	2,606	2.46
佐藤 研一郎	2,405	2.27
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	2,335	2.20
BNYML-NON TREATY ACCOUNT	2,093	1.97
HSBC BANK PLC A/C CLIENTS 1	1,652	1.56
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	1,349	1.27
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	1,323	1.25

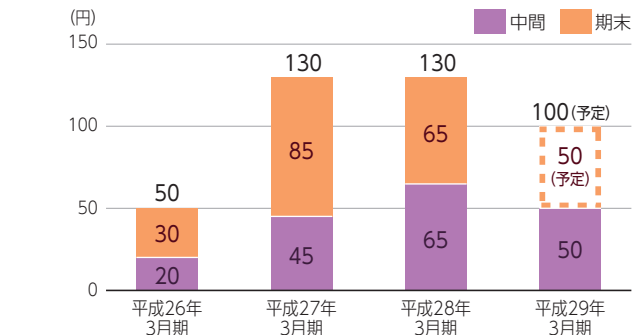
(注) 1. 持株数は千株未満を、持株比率は小数点第2位未満を、それぞれ切り捨てて表示しております。
2. 当社の自己株式(5,424千株)は、上表から除外しております。
3. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式を除いた数に基づき、算出しております。

株価と出来高



(注) 株価は各月の取引日の終値の単純平均を、出来高は月間の推移を表示しております。

配当金の推移



ローム ホームページ
<http://www.rohm.co.jp>

投資家情報
<http://www.rohm.co.jp/web/japan/investor-relations>





社名について

半導体メーカー・ローム (ROHM) の社名由来は創業当時の生産品目である抵抗器 (Resistor) の頭文字「R」に抵抗値の単位Ω [ohm] を組み合わせたものです。「R」は信頼性 (Reliability) にも通じており、品質を第一とするロームの企業姿勢を示しています。

■ 会社概要

社名 ローム株式会社
(ROHM COMPANY LIMITED)

本社 〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町21
TEL (075) 311-2121
FAX (075) 315-0172

設立年月日 昭和33年9月17日

資本金 86,969百万円

従業員数 3,225名 (ロームグループ21,114名)

■ 役員

※取締役社長 澤村 諭
取締役 藤原 忠信
東 克己
松本 功一
佐々山 英一
山崎 雅彦
阪井 正樹
佐藤 研一郎
川本 八郎
西岡 幸一
監査役(常勤) 柴田 義明
仁井 裕幸
監査役 千森 秀郎
村尾 慎哉
喜多村 晴雄

(注)

- ※印は、代表取締役であります。
- 取締役 川本八郎及び西岡幸一は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
- 監査役の5名は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
- 当社は、取締役 川本八郎、西岡幸一の両氏、及び監査役の5名を、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、当該取引所に届け出ております。

■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

株主確定の基準日 定時株主総会、期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
TEL (0120) 094-777 (通話料無料)

金融商品取引所 東京証券取引所

公告方法 以下の当社ホームページに掲載しております。
<http://www.rohm.co.jp>

(ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします)

【株式に関するお手続きについて】

「住所・氏名のご変更」、「配当金受け取り方法のご指定」、「単元未満株式の買取請求」、「単元未満株式の買増請求」等各種お手続きの窓口は、次のとおりとなります。

なお、株券電子化までに証券保管振替機構(ほふり)を利用されなかった株式につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に管理口座(以下、「特別口座」といいます)で管理されております。

●証券会社等の口座にて保有されている株式にかかるお手続き
→お取引のある証券会社等にご照会ください。

●特別口座にて保有されている株式にかかるお手続き
→特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社に照会ください。

なお、下記のご照会等につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

- 「支払期間経過後の配当金に関するご照会」
- 「郵便物等の発送と返戻に関するご照会」
- 「株式事務に関する一般的なお問合せ」

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

住所：〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
テレホンセンター：(0120) 094-777 (通話料無料) (受付時間：平日9:00～17:00)
ホームページ：<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

ローム株式会社

本社 〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町21
TEL (075) 311-2121 FAX (075) 315-0172
URL <http://www.rohm.co.jp>

